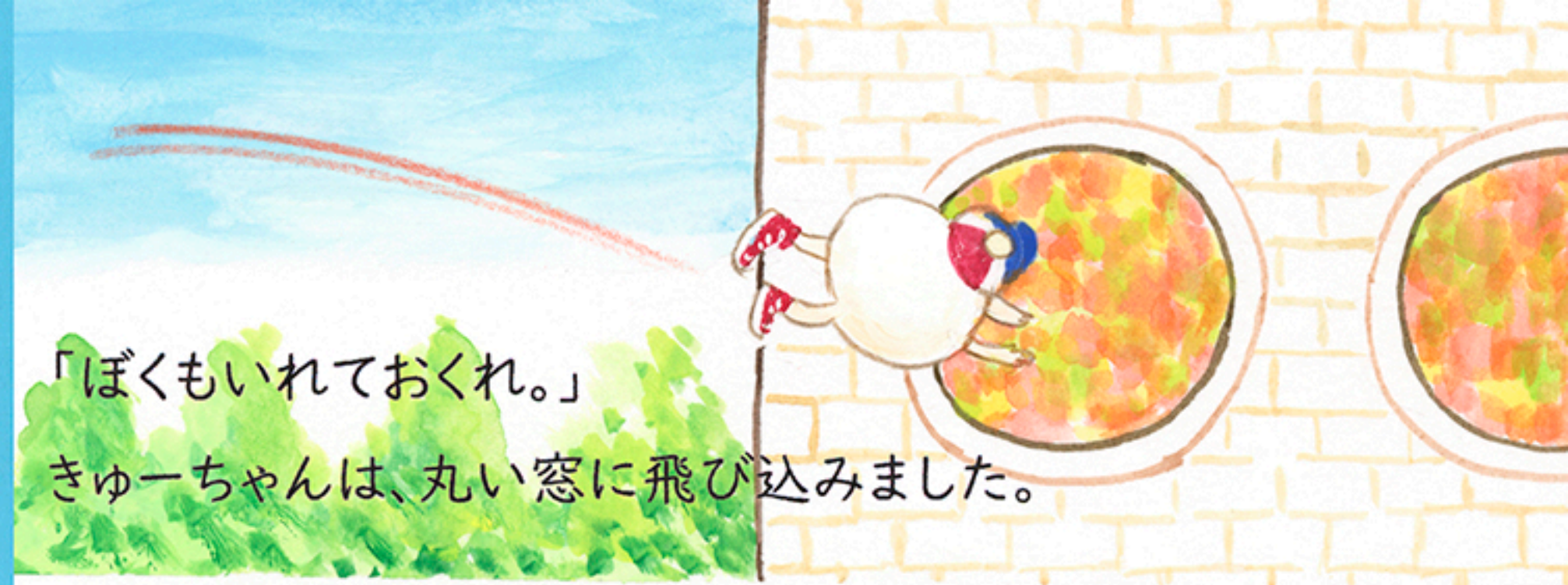


ボールのきゅーちゃんが、どこからか飛んできました。
「だれか、ぼくとあそんでくださいな。」
すると、まるい赤い屋根のたてものから、
楽しそうな声が聞こえてきました。



「ぼくもいれておくれ。」

きゅーちゃんは、丸い窓に飛び込みました。



すると、
ぽーん、ぽーんと、
何かにはじかれました。



「ぼくをはじくのはだれだい。
うわあ…、でも…、とっても…、
たのしいなあ。」